



BOARD@白板家[®]

Ideas Worth Sharing

白板家クイックガイド
Windows版
ジョイテック株式会社
2021.2

目次

1. POTのインストール
2. フレーム本体の取り付けと接続
3. POTを起動
4. デスクトップに戻るには
5. アイコン機能一覧
6. マーカーの太さ設定
7. 板書データ保存先変更
8. フレームの向き
9. 板書のコツ
10. 黒板使用時の設定変更

※2と3は手順が逆でも問題ありません。

【1. POTのインストール】

PC用アプリ「POT」を白板家HPからPCにインストールして下さい。

(Windows7以上、Mac OS 10.10以上対応)

白板家HP ▶ ユーザーサポート ▶ POTのインストール

<https://www.hakubanya.com/support>

※白板家はシンクライアントPCでは使用できませんので、ご注意下さい。



【2. フレーム本体の取り付けと接続】

①フレーム本体をホワイトボードに取り付けて下さい。

※板面がシート状で波を打っているようなボードの上では使用できません。



【2. フレーム本体の取り付けと接続】

②アイコンボードを点線部分がちょうど隠れるように、フレームの右下部分を少し持ち上げて挟み込んで下さい。

※初めて使用するPCに接続する時はUSBケーブルの認識に時間がかかる場合がございます。



【3. POTを起動】

①インストール後POTをダブルクリックして起動して下さい。



②POTアイコンをダブルクリックすると、数秒後にPCの全画面がホワイトボード画面へ移行します。
USBケーブルを接続済であれば、板書した内容がPCのホワイトボード画面上に表示されます。

※仮に板書が表示されない場合は、POTを再起動し、
USBケーブルを抜差しして再度お試しください。

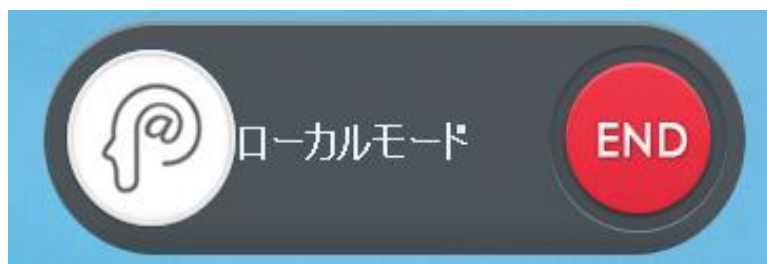
白板家
ホワイトボード
画面



【4. デスクトップに戻るには】

PCのESCを押すか、アイコンボードの画面切換をタッチすれば、ホワイトボード画面からデスクトップ画面に戻ることができます。

また、デスクトップ上のローカルモードアイコンをダブルクリックするか、切換アイコンをタッチすることで、ホワイトボード画面に戻ることができます。



ローカルモードアイコン



画面切換えアイコン

【5. アイコン機能一覧】

	【クリア】 ホワイトモード画面に記載されている内容を全消去します。パソコンのF10キーを押すと元に戻ります。		【次のページに進む】 ホワイトボード画面で次ページに進みます。 (ホワイトボード画面の場合保存をタッチした後に操作可能) PowerPointを表示している場合は次ページに進みます。
	【保存】 その時に表示しているホワイトボード画面をJPEGで保存します。		【赤に色変更】 ホワイトボード画面のマーカーの色を赤に変更します。
	【デスクトップとの切換え】 ホワイトボード画面とデスクトップの切換えができます。		【青に色変更】 ホワイトボード画面のマーカーの色を青に変更します。
	【前のページに戻る】 ホワイトボード画面で前ページに戻ります。 (ホワイトボード画面の場合保存をタッチした後に操作可能) PowerPointを表示している場合は前ページに戻ります。		【黒に色変更】 ホワイトボード画面のマーカーの色を黒に変更します。

【6. マーカーの太さ設定】

①ローカルモードアイコン上で右クリックすると、設定画面へ移行できます。



【6. マーカーの太さ設定】

②最初は「標準」に設定されていますが、小さい文字を書く時にPC画面上で文字が潰れてしまう場合は、「極細」や「細め」に設定すると文字が潰れにくくなります。

設定

アイコン設定

板書設定

基本設定

その他の設定

背景選択: ホワイトボード

マーカーの太さ: 標準

マーカーサイズの設定:

極細 チョーク推奨

細い 12mm

やや細い

標準

やや太い

太い

極太

画像データの選択:

画面の保存: ☒ POTを閉じる時に最後の画面を下記指定フォルダに自動的に保存:

c:\¥LocalMode¥2020-09-24¥

保存先の変更

フォルダを開く

キャンセル

保存

【7. 板書データ保存先変更】

②POTの設定で「板書設定」から板書データの保存先を変更することができます。

【8. フレームの向き】

縦向きで使用する場合は、「フレームの向き」を縦に変更する必要があります。



【9. 板書のコツ】

白板家は赤外線センサーで板面に触れているものを検知しているため、基本的に何でも反応します。

下図のように、手や指・上着の袖などが触れながら板書すると、精度が落ちてしまいます。



枠内では、基本的にマーカーのみが板面に触れる形で板書するとスムーズに板書できます。また、走り書きもその度合いによっては精度が落ちますので、ご注意下さい。

ホワイトボードマーカーは中字以上のサイズを推奨しております。

【10. 黒板使用時の設定変更①】

黒板で使用する場合は、まず「板書設定」の背景選択で「黒板」を選択して下さい。

設定

アイコン設定

板書設定

基本設定

その他の設定

背景選択: 黒板

マーカーの太さ: 細い

マーカーサイズの設定: 12mm

* 設定値以上のサイズはイレーザと認識します。

画像データの選択: ☐ 白板家AppからPOTに画像データを転送

画面の保存: ☒ POTを閉じる時に最後の画面を下記指定フォルダに自動的に保存:

c:\¥LocalMode¥2020-09-24¥

保存先の変更

フォルダを開く

キャンセル

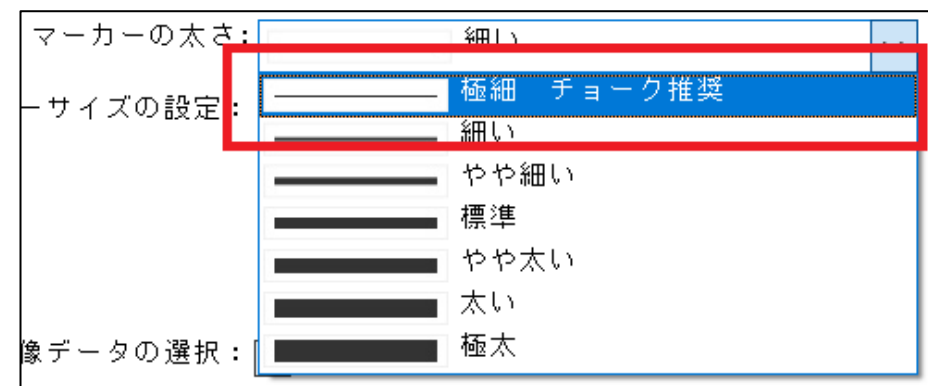
保存

【10. 黒板使用時の設定変更②】

その後、マーカーの太さを「極細 チョーク推奨」に変更する必要があります。

また、ご使用のチョークによっては、画面上で文字が欠ける場合があります。

その時はマーカーサイズを15mm程度に変更し、お試しください。



短いチョークを使用したり、チョークの先端を持って書くと、精度が落ちてしまいます。指は板面から1～2cmは空けて、板書して下さい。

チョークの場合、フレーム下部に粉が溜まりやすくなります。こまめな清掃をお願い致します。

※背景を黒板に変更し、マーカーの太さも変更したら、保存をクリックして一旦POTを閉じて下さい。その後POTを再起動すれば、設定変更が反映されています。

